

福岡の伝統・匠の技と若きアーティストの感性が融合！ ～自然環境統一ブランド「自然献上18°」を発表～

自然献上18°とは？

9月25日（金）、福岡市中央区警固神社にて新ブランドプロジェクト「自然献上18°」の発表内覧会が開催された。これは、福岡県内の企業が有する伝統・匠の技を活かした製品を、小説家・アーティストである沙真（Sachika）氏がデザインした“自然環境統一ブランド”である。

「自然献上18°」の“自然献上”は、県の伝統的工芸品である博多織献上柄に由来し、“自然・伝統と共に生きる”という当ブランドのコンセプトを表現している。

“18°”は、沙真氏が18才で小説家としてデビューしたこと、またフランス・パリの18区（同国では区をeで表す）が芸術家達を多く輩出したモンマルトルであることなどに由来している。

20才のアーティスト“沙真（Sachika）”

沙真（Sachika）氏は、1989年福岡市生まれ。2008年2月にファンタジー小説「私は一本の木に恋をした」を発表し作家デビューを果たす。その後、同作品はテレビドラマ化され放映された。

現在は地球環境活動をメインテーマとしており、福岡ソフトバンクホークスのecoday環境活動シンボルを制作するなど、多岐にわたる分野で活躍している。

そしてこの度、高い伝統の技を持つ県内の5企業と連携し自然環境統一ブランドの基本デザインからプロダクト・パッケージデザインを行うこととなった。

“妖精”の集い

各企業と連携して開発された商品には、それぞれ物語と、モノに宿る“妖精”たちが設定されている。

博多織（鴛海織物工場）＝“博多織の妖精”には「ハチボーン物語」。

あまざけ（浜地酒造）＝“お酒の妖精”には「巫女とアーサの伝説物語」。



博多織の妖精



パネルディスカッション（中央：沙真氏）



お酒の妖精（あま酒）

博多から世界へ！自然文様に小さな物語が秘められた
日本伝統のファンタジーブランド誕生！



いぐさの妖精（花莫産）



黄楊の妖精（つけ細工）



お菓子の妖精

花莫産（添島勲商店）＝“い草の妖精”には「ポップル物語」。

和菓子（如水庵）＝“お菓子の妖精”には「杏ちゃんとフルーティーン物語」。

つけ細工（筑前つけ細工匠工芸）＝“黄楊の妖精”には、「とよちゃんかつーちゃん物語」。

沙真氏と各企業の職人達により生み出されたこれらの“妖精”たちとその物語は、会場に訪れた人の心をとらえ、伝統技術の新たな可能性を感じさせた。

また展示会場では、沙真氏と、商品開発を行った各企業のプロジェクトメンバーによるパネルディスカッションが行われ、伝統の技に魅了されたアーティストと、アーティストのみずみずしい感性に刺激を受けた匠達が、その出会い、作品、物語について熱い思いを語った。

音の妖精

また当プロジェクトでは、音楽プロデューサーでありヴァイオリン演奏家である山内達哉

氏と沙真氏のプロデュースにより、福岡・九州の風土をバックボーンとした全8曲のテーマ曲がつけられた。

演奏された展示会場は、ヴァイオリン、ピアノ、フルート、尺八の美しい音色・ハーモニーに満たされ、来場者は熱心に聴き入っていた。

プロジェクトの今後

なお、当プロジェクトで開発された商品については、各企業の販路を活用し販売を行っていく。また、このプロジェクト、“物語”の続きは、18e.jp（下記アドレス参照）につづられていく予定である。



テーマ曲の演奏

お問合せ先

団体名	自然献上18 ^e プロジェクト推進協議会
代表者	平松 暁 氏
TEL	092-724-0388
URL	http://18e.jp/